

研究機関：広島大学

研究課題名	年次登録検証によるくも膜下出血頻度変化に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 准教授 井川房夫
研究期間	2018年2月14日(倫理委員会承認後)承認日 ~ 2019年12月31日
対象者	2001年1月1日~2017年12月31日の間に、広島大学病院脳神経外科および一般社団法人 日本脳神経外科学会所属施設で、脳動脈瘤の治療を受けられた患者。
意義・目的	全国の脳神経外科施設から一般社団法人 日本脳神経外科学会に登録された脳動脈瘤クリッピング術、コイリング術治療件数の変化と厚生労働省人口統計、死亡統計、高血圧、喫煙統計から、日本のくも膜下出血の頻度の変化、推定年間破裂率の変化を調査し、未破裂脳動脈瘤治療件数、高血圧、喫煙率の変化との関与を明らかにすることにより、未破裂脳動脈瘤の管理、治療適応決定に貢献し、最終的に日本の未破裂脳動脈瘤の破裂を欧米並みに低下させることを目的として、この研究を計画しました。
方法	一般社団法人 日本脳神経外科学会に登録された脳動脈瘤クリッピング術、コイリング術治療件数の変化と厚生労働省人口統計、死亡統計、高血圧、喫煙統計から、日本のくも膜下出血の頻度の変化、推定年間破裂率の変化を調査し、未破裂脳動脈瘤治療件数、高血圧、喫煙率の変化との関与を明らかにします。
共同研究機関	一般社団法人 日本脳神経外科学会、日本医科大学 大学院、京都大学健康情報科学科、京都大学健康情報学、神戸中央市民病院脳神経外科、九州大学大学院脳神経外科、杏林大学医学部脳神経外科、岡山大学大学院脳神経外科、滋賀医科大学脳神経外科、山梨大学医学部脳神経外科、北海道大学脳神経外科、東京大学脳神経外科、京都大学脳神経外科、東北大学脳神経外科、山口大学医学部脳神経外科 広島大学に情報を集め広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学（研究責任者 井川房夫）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 准教授 井川房夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5226 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 准教授 井川房夫